

社会福祉法人 あおば厚生福祉会

- ▶ 本社所在地 / 宮城県仙台市太白区茂庭台2-15-25
- ▶ 主な事業内容 / 福祉(介護・保育)
- ▶ 従業員数 / 250名

健康経営優良法人認定(大規模部門)
2021~2024認定



⇒ 健康経営に取り組むきっかけ

理事長が職員に対して感謝をカタチにするため、福利厚生を充実させていきたいという当初の思いが、健康経営の趣旨とマッチしたことがきっかけです。

また、健康経営の実施により、当法人が展開する介護と保育の長時間労働や重労働等というマイナスイメージを払拭し、採用力の強化や離職率低下につながることを期待しました。

⇒ 注力している取り組み

当法人の福利厚生の一環として、法人全負担による“業務災害保険”に加入しています。プライベートの怪我や病気、入院や手術の際にも利用可能な保険となっており、出費に対し、保険金がおおりる仕組みとなっています。この保険は、雇用定年を70歳へ引き上げたこともあり、高齢化に伴う健康サポートや怪我のリスクへも対応できます。また、女性職員が多く妊娠時の緊急入院時などでもカバーすることができるので、職員からの評価が高い福利厚生の一つです。

昼食等の職員食の補助をしており、保育事業部ではほぼ全員の職員が栄養士監修のバランスの良い職員食を日々食べるようになるなど、金銭面・食生活面の両面でサポートを行っています。

当法人は多職種の従業員がおり、コミュニケーションの取り方にも工夫が必要と考え、定期的に職員へ運動の呼びかけとして、バレーボール等のレクリエーションを実施しています。この取り組みでも、職員に金銭的負担がかからないよう会場代は、法人負担としています。



⇒ 取り組みの課題

保育施設、介護施設など、事業所を超えた交流を図りたいと考えています。現在保育園の子どもたちが、介護施設に赴くこともしていますが、他業種の法人なので今以上に事業所を超えた交流が行えるのではないかと考えており、コロナが落ち着いた昨今、少しずつその機会を増やしていきたいと考えております。

採用面では、当法人が健康経営優良法人であることの認知がまだまだ求職者に浸透していないため、求人掲載の際に健康経営の取組紹介や面接時にアンケートを取るなどして健康経営の取組が求職者にどこまで伝わっているかの確認を進めていきたいと思っております。

⇒ 取り組みの効果

メタボ・血圧リスクについては、宮城県の平均データ値より良く、運動機会の提供や協会けんぽからいただいたポスターでの啓発により少しずつ従業員の健康意識が高まっていると感じています。

「健康経営優良法人に認定されているため、安心できる環境に感じた。」とのコメントを求職者よりいただいております。健康経営の取組の紹介が、応募の決め手の理由のひとつに挙げられるなど、法人の採用強化につながっていると実感しています。

⇒ 今後の展望をお聞きしました!

健康及び健康意識の改善が、パフォーマンスや生産性の向上につながると考えています。食生活・睡眠・運動習慣を改善し、健康意識を変えていくことが大切であり、その余地がまだあるものと考えています。

生命保険会社様が当法人の健康経営アドバイザーとしてサポートしていただいておりますので、生命保険会社様主催の禁煙・運動・食習慣などといったセミナーを通じて、更なる従業員の健康意識の向上につなげていきたいと思っております。

そして、それらの活動が人材確保と離職率低下に繋がると信じ、引き続き安心して働きやすい職場環境を整えていきたいと思っております。

